

国営かんがい排水事業の整備効果

～ 北海道開発局が実施する
畑地かんがいについて ～

共に北海道の未来を創る
第9期北海道総合開発計画

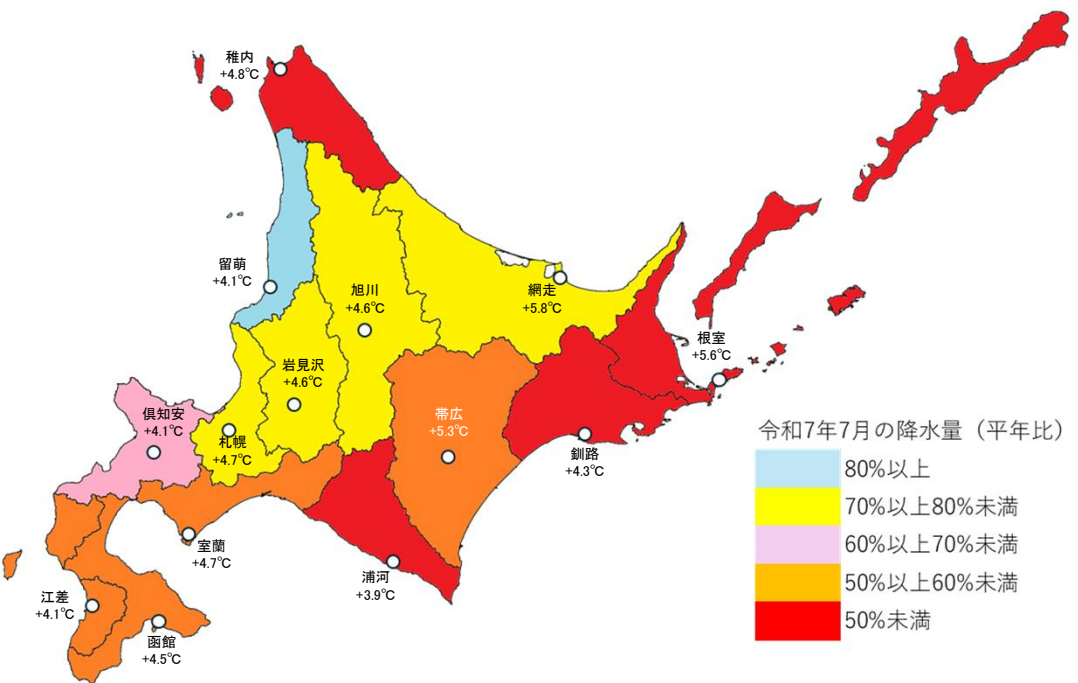


北海道開発局ホームページへはこちらから。

令和7年夏の気象状況

北海道の7月の月平均気温は、統計開始以来1位を記録。降水量は全道で平年より少ない状況。十勝地域では、令和7年7月中旬から下旬にかけて、日中の気温が非常に高く(最高38度程度)、また降水が無い状況が続いた。

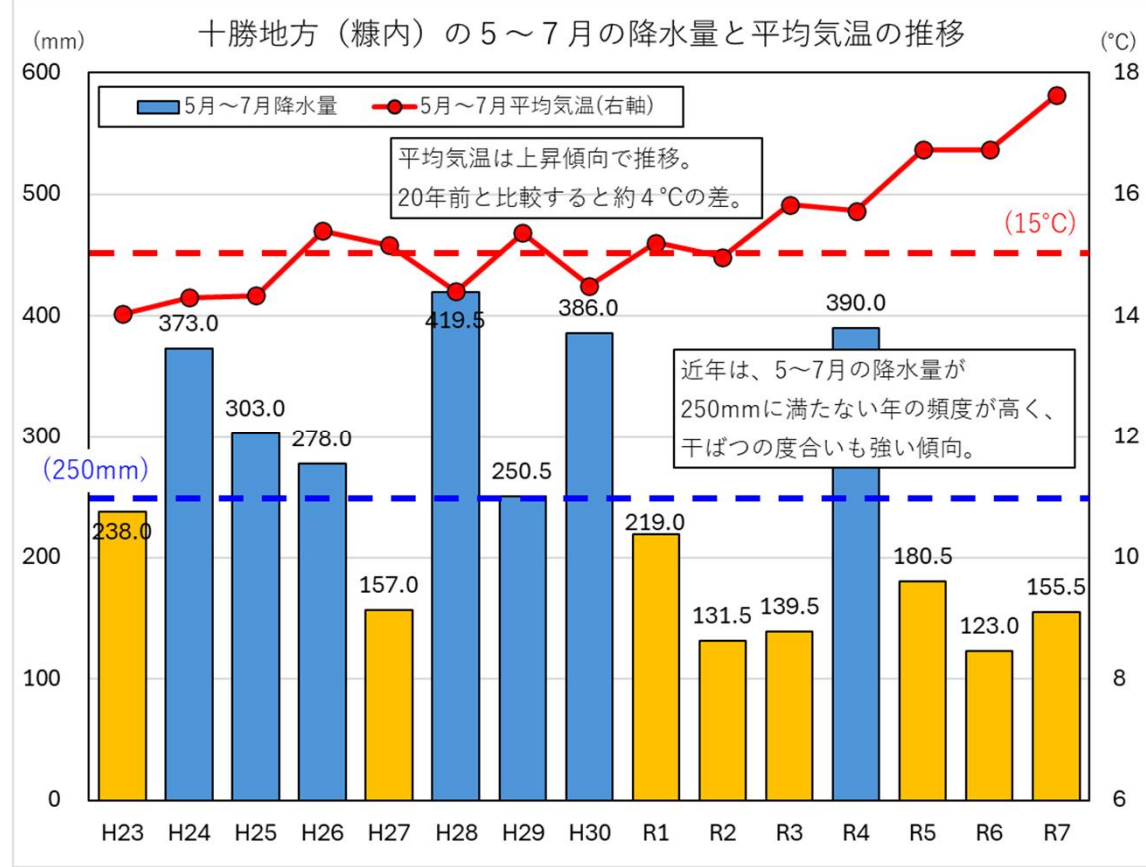
■地域ごとの降水量と平均気温(平年比)



資料:アメダスデータをもとに北海道開発局整理
(図中の気温は7月平年値との対比)

■気象概況

※資料:アメダスデータをもとに北海道開発局整理



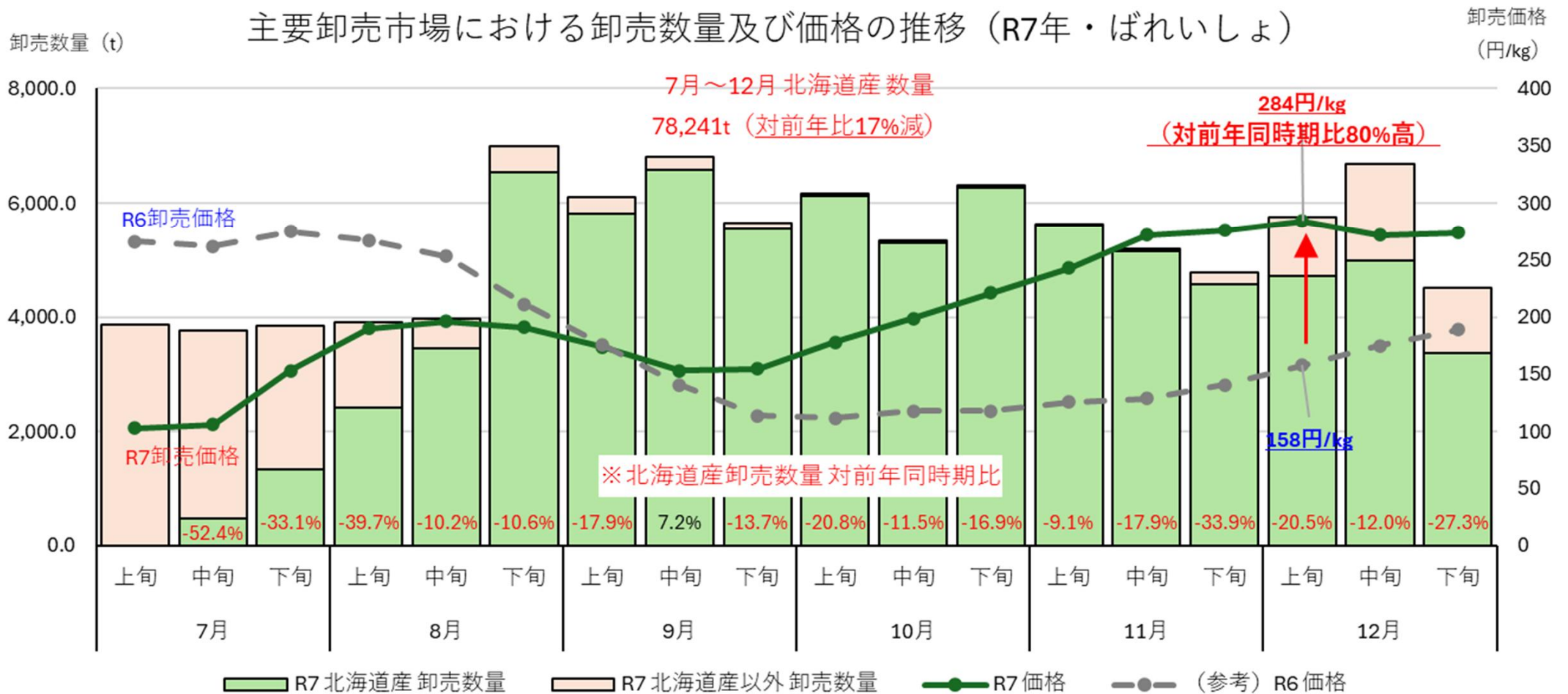
※北海道では、「5月~7月の平均気温が15°C以上で、降水量が250mm以下」の地域を、畑地かんがいが必要とする目安としている。

資料:北海道における畑地かんがいの手引き(H9 北海道農政部ほか)

市場の動向

ばれいしょの令和7年産の収穫量は、高温や少雨の影響により、前年産に比べ、全国で8%減少、北海道で10%減少。ばれいしょなど道内産のシェアが高い農産物の出荷量が例年より少なく(対前年比17%減(7月~12月北海道産数量))、秋以降の価格高騰の一因となった。

主要卸売市場における卸売数量及び価格の推移 (R7年・ばれいしょ)



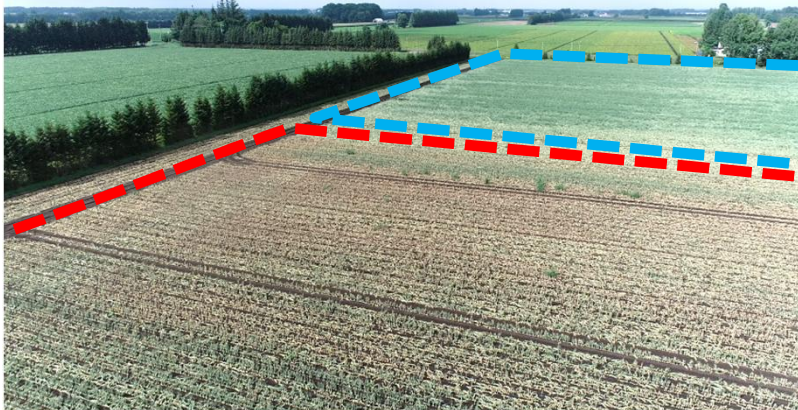
資料: 農林水産省 青果物卸売市場調査(旬別結果)品目別・産地別(主要卸売市場計※)をもとに北海道開発局整理

※主要卸売市場: 札幌市中央、仙台市中央、東京豊洲、東京大田、東京豊島、東京淀橋、横浜本場、金沢市中央、名古屋本場、名古屋北部、京都市中央、大阪本場、大阪東部、神戸本場、広島中央、高松市中央、北九州市中央、福岡市中央、沖縄県中央

生産現場の状況

作物が成長したい時に十分な水分がないため、令和7年度は例年より多い規格外品が発生。

(帯広市の畑地かんがいモデルほ場で撮影: 令和7年8月19日)



畑地かんがい有り

畑地かんがい無し

畑地かんがいの有無による生育の違い(たまねぎの例)



	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
生育期節						萌芽			着蕾			開花			黄変			
作業体系			播種						培土									収穫
かん水期							かん水期間											
							重点期			注意期			危険期					

ばれいしょの生育期節と作業体系

帯広市の農業者さん



二次成長の発生したばれいしょ



○は二次成長

畑地かんがい無し
規格外品

畑地かんがい有り
規格品

北海道開発局が行う畑地かんがい施設整備

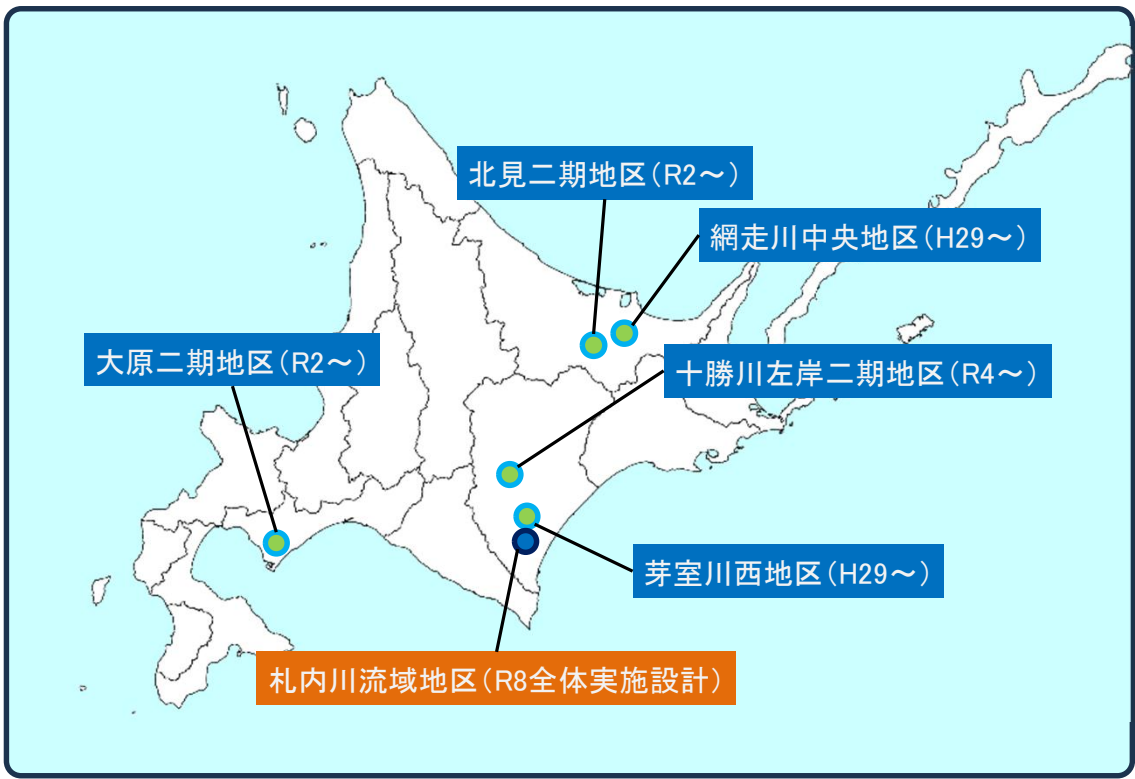
北海道開発局では、既存施設の計画的な整備・更新とあわせ、畑地かんがい可能なエリアの拡大に取り組んでいます。

※ 畑地かんがいは、畑作物や野菜類などの生育に必要な水分を補給するため、畑に散水を行うこと。

■畑地かんがい施設の整備内容の例

	取水施設	幹線用水路	ファームポンド
基幹施設 <small>(主として国営事業で整備)</small>	 ダム	 管水路の施工状況	 幹線用水路の末端に位置し、用水の需給調整を行う
末端施設 <small>(主として道営事業等で整備)</small>	 支線用水路・給水栓 ほ場給水栓	 リールマシン 水圧によってホースを巻き取り、散水機を自走させる	 スプリンクラー (散水機)

■道内で畑地かんがい施設整備を実施中の地区



取組事例：国営かんがい排水事業「芽室川西地区」

事業の概要

○関係市町

おびひろ かさい めむろ
北海道帯広市、河西郡芽室町

○事業工期

平成29年度～

○受益面積

20,623ha(畑)

○主要工事

ダム 1か所(改修)

用水路 27条L=140.5km(新設)

地区概要図

